

令和7年度学校評価報告書

令和8年3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道旭川北高等学校長 北 村 京 一 印

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

次代を担うにふさわしい 1 何事にも真剣に努力する人間 2 決まりを守り、人に迷惑をかけない人間 3 豊かな心と、たくましい体を持つ人間 4 働くことを通して責任感あふれる人間(定時制)	になることを目指そう
---	------------

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 地域から信頼、期待される学校づくりに向けて、地域への情報発信を重視した。成果として志願者の一定数増加にはつながったといえるものの、SNS等の活用などさらなる推進が求められている。 持続可能な学校運営の観点では、働き方改革への取組は一層求められている。 	評価 : 全日制：B 定時制：A <ul style="list-style-type: none"> 学校のHPやSNSを通じて、より積極的かつタイムリーな情報発信に努めていただきたい。 業務の平準化や見直しを通じた働き方改革も進められ、働きやすさと教育の質向上にむけた取組を期待したい。
改善方策	(全日制) 職員間の連絡・報告等の質を高めて事務手続等のミスを防止し、地域から信頼される学校づくりを目指す。 (定時制) 日常的な会話や面談などを通じて情報を共有し、組織力の向上を目指す。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 教職員間での進路関係の情報共有を活発にし、模擬試験の結果を活用した指導力向上や生徒の学力向上につなげていく。 北教大旭川校と連携した「みらいの教員育成プログラム」の成果を全校的な成果として共有していきたい。 定時制では、外部関係機関と連携し、系統的な進路指導の充実を図る。 	評価 : 全日制：A 定時制：B <ul style="list-style-type: none"> 大学や企業の連携を推進し、社会との接点を広げる取組を進めていただきたい。 定時制には、生徒の実態に即した進路指導が丁寧に行われており、関係機関との連携を深め、将来設計支援の一層の充実を期待する。
改善方策	(全日制) 企業や大学と連携した探究学習を通じたキャリア教育を推進していく。 (定時制) 外部関係機関と連携し、自己の適性と社会で求められる能力を理解させる。	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的な深い学びを意識した授業改善について、より一層の工夫、改善が求められている。 定時制では、授業マナーの指導とともに、生徒が達成感を感じられるような授業の研究に努めている。 	評価 : 全日制：A 定時制：A <ul style="list-style-type: none"> 熱意ある教員の指導という強みに加え、ICTの効果的な活用等で学習指導の充実に取り組まれることを期待したい。 定時制では、少人数の特性を生かした生徒一人一人の理解度に応じた支援を引き続きお願いしたい。
改善方策	(全日制) 主体的な学びへの意欲を高める指導方法の工夫・改善にむけた校内研修、授業評価の場を充実させていく。 (定時制) 教科横断型の学びを通してコミュニケーション能力を育成する。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に基づき、早期発見と組織的な対応を今後ともはかる。同時に生徒、保護者にも基本方針や相談体制の周知を十分に図る必要がある。 定時制では、個々の事情に配慮したきめ細かい生徒支援の体系化をすすめることが必要である。 	評価 : 全日制：A 定時制：A <ul style="list-style-type: none"> 個々の事情に配慮したきめ細かい対応がなされ、安心して学校生活を送ることができる基本的な環境が整えられています。
改善方策	いじめの未然防止対策と「命を守る」教育を充実させていく。	
公表方法	学校ホームページに掲載	

3 添付資料

- (1) 学校関係者評価書
- (2) 自己評価アンケート